

TPL10/TPL10(BK)

取扱説明書



このたびは、㈱impactTVの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使い下さい。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

TPL10 Ver.E.1.0
TPL10(BK)Ver.D.1.0

impactTV

安全上のご注意

この安全のご注意では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や製品への損害を未然に防止する為に、いろいろな注意事項を記号で表示しています。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示する為に、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示と内容は、次のようになっています。

【危害／損害の程度とその表示】

	危険	死亡や重症など危険が切迫して生じる事が想定される内容です。
	警告	死亡や重症などの可能性が想定される内容です。
	注意	傷害や物的損害のみ発生する可能性が想定される内容です。

●注意を促す記号 ●行為を禁止する記号 ●行為を指示する記号

注意	感電	接触禁止	禁止	分解禁止	水滴禁止	濡れ手禁止	プラグを抜く

危険

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大ケガにつながる場合があります。



ACアダプタは、付属の専用ACアダプタを使う
異常発熱・発火・火災・感電によるけがを防ぐために！ACアダプタは本製品に同梱されている専用のACアダプタを必ずご使用下さい。

警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大ケガにつながる場合があります。



内部を開けない
内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電、やけど、動作不良の原因となる場合があります。内部の調整や設定、点検、修理はフリーダイヤルにご依頼ください。



内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となる場合があります。万が一、水や異物が入った時は、ACアダプタをコンセントから抜いて、フリーダイヤルにご相談下さい。



本機の上に水が入ったものを置かない
内部に水が入ると火災や感電の原因になります。



ACアダプタを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・設置時に製品と壁やラック（棚）などの間に挟み込んだりしない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものを乗せたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・ACアダプタを抜くときは、必ずACプラグ部位を持って抜く。



付属品以外は使わない
取扱説明書に記されている 付属品を使用しない場合、火災、発煙、発火、感電や故障の原因となる場合があります。



指定された電源電圧で使う
取扱説明書に記されている電源電圧で使用しない場合、火災、発煙、発火や故障の原因となる場合があります。



お手入れの際は、ACアダプタをコンセントから抜く
電源を接続したままお手入れをすると感電の原因となる場合があります。



長時間使わないときは、ACアダプタを抜く
安全のため、ACアダプタをコンセントから抜いてください。



梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。



熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。



ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して火災の原因になります。



ACアダプタにものゝせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはない
火災、感電の原因になります。



付属のACアダプタは、他の機器につながらない
火災や感電の原因になります。付属のACアダプタは、本製品専用です。



じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。



テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。



故障や異常のまま、つながらない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。



液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと火災・感電の原因になります。



本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災の原因になります。

注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与える場合があります。



不安定な場所に放置しない
ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因になることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。



ぬれた手でACアダプタにさわらない
ぬれた手で AC アダプタの抜き差しをすると、感電の原因となる場合があります。



水のある場所に置かない
水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使用すると、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、水辺でのご使用は特にご注意ください。



コンセントまわりは定期的に掃除する
湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない 火災や感電の原因となる場合があります。



雷が鳴り出したら、ACアダプタに触れない
感電の原因になります。



眼精疲労を防ぐため、以下を守るディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにする
連続作業をするときは、1 時間に10 分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。



本製品の設置角度や高さ調節時に、指をはさまないよう気をつける
けがの原因となります。



人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。



電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。

万一、異常が起きたら

- ☐ 煙が出たら
☐ 異常な音、においがしたら
☐ 内部に水、異物が入ったら
☐ 製品を落としたりケースを破損したときは

▶▶▶

AC アダプタを
コンセントから抜く

火災や感電を防ぐ為に必ずお守りください

以下の場所には置かないでください。

- ・風通しの悪い場所。
- ・また、布をかけるなどすると、火災や故障の原因になります。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・異常に高温な場所。
- ・炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所や、熱器具に近い場所。
- ・不安定な場所。
- ・湯煙や湯気のアたる場所。
- ・上向きや逆さま、横倒しにしたり、重いものをのせたりしないでください。
- ・激しい振動のある場所。
- ・強力な磁気のある場所。
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

お手入れの仕方

- ・お手入れをする前に、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装が剥げたりすることがあります。
- ・化学そうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤のような揮発のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装が剥げたりすることがあります。

免責事項

■免責事項について

●地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●この端末はJ550321のクラスBに準拠しています。住宅地の環境により、この端末は無線干渉を引き起こす可能性があります。

設置場所についてのご注意

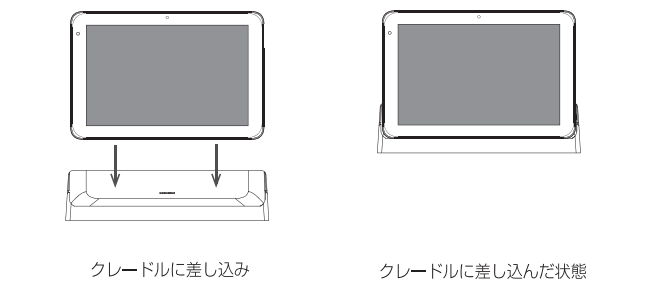
本機を取付の際には設置場所に十分にご留意いただき、安全な場所に取り付けいただけますよう、お願いいたします。

【ご注意】

- ・上方からの負荷はかけないでください。本機が落下し、思わぬけがの原因となります。
- ・ACアダプタや液晶画面などに、部分的に圧力をかけないでください。故障や断線の原因となります。

■設置方法

クレードルに差し込み使用ください。



はじめに

【付属品を確認する】

・まずは付属品の確認をしてください。

☐ TPL10/TPL10(BK) 本体 ☐ 取扱説明書(本書) ☐ クレードル ☐ ACアダプタ



TPL10/TPL10(BK) 本体 取扱説明書（本書） クレードル ACアダプタ
※イメージ図

【USBメモリ使用に際しての注意点】

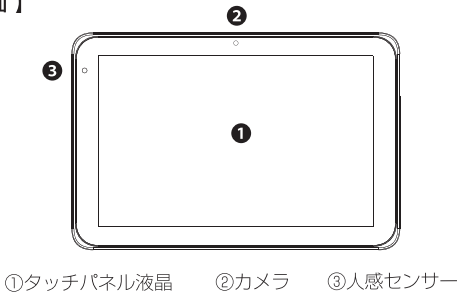
- ① 市販のUSBメモリを準備/使用する場合、フォーマット仕様が FAT32 であることをご確認ください。 exFAT 等、別のフォーマットを使用した場合は正常に動作しないことがあります。
- ② パソコンからデータコピーを行う場合は、必ずwindows PCを使用するようにしてください。iOSやその他のOSが搭載されたパソコンを使用した場合、当社製品が正常に動作しないことがあります。

【当社製端末用コンテンツのファイル名に関する制約】

当社製品にて扱うことのできるコンテンツファイルについては、ファイル名称として使用できる文字に制約があります。この制約を満たしていないファイル名のコンテンツは正常に再生されなかったり、機器が異常な動作をすることがありますのでご注意ください(破損はしません)。対応文字：全角・半角英数字、漢字、ひらがな、全角カタカナ（混在可能です）非対応文字（機種依存文字/特殊記号）:<>()¥,:[] ■ ㈱× など、全角・半角スペース、半角カタカナ、文字数制限:半角文字 22文字まで、全角文字 11文字まで（拡張子は文字数に含みません）。

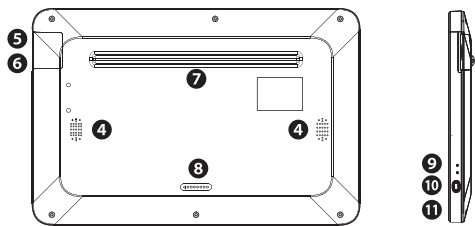
本体各部の名称

【本体表面】



①タッチパネル液晶 ②カメラ ③人感センサー

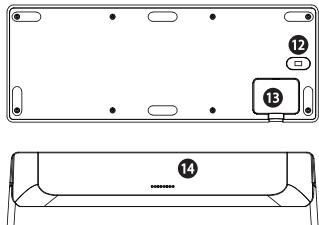
【本体裏面・側面】



④スピーカー ⑤リセットホール ⑥USB2.0 接続端子×1
⑦取っ手 ⑧充電ポコピン端子 ⑨LED-1
⑩LED-2 ⑪電源ボタン

クレードル各部の名称

【クレードル表面・底面】



⑫クレードル電源スイッチ ⑬DC IN1 プラグ挿入部 ⑭クレードルポコピン端子

仕様

項目	内容
品名	TPL10/TPL10(BK)
消費電力	約11W
SOC	RKPX30
液晶/バックライト	10.1インチ IPS液晶1280×800ピクセル（16：10） LCDバックライト輝度（700cd）
音声出力	内蔵スピーカ：2W×1
デバイス I/O	USB2.0 Type C×1（OTG対応）
通信	・Wi-Fi（IEEE802.11a/b/g/n/ac） ・Bluetooth 5.0
OS バージョン	Android OS9.0
内蔵カメラ	2.0 Mピクセル
メインメモリ	2 GB DDR
内蔵ストレージ	16GB eMMC Flash
タッチパネル	静電容量方式5点マルチタッチ、G+FF
時計/カレンダー	RTC搭載（ボタン電池付き）
電池	リン酸鉄リチウム電池搭載（容量8500mAh）
使用電源	専用ACアダプタ（入力：100～240V、出力：12V2A） PSE取得製品
寸法※・重量 （本体のみ）	幅 253mm×高さ171mm×厚さ19mm（突起部を除く） 約 820g
準拠規格	VCCI ClassB, RoHS指令
使用環境	温度5℃～35℃（結露無き事）

※寸法は小数点以下を切り上げて表記しています。詳細は別途寸法図をご確認ください。

操作方法

■**本体の充電方法**
充電をする際には、まずコンセントにACアダプタを差し込み、ACアダプタとクレードルを接続してください。
次にクレードルの電源スイッチをONにし、本体をクレードルに装着してください。

■**充電開始条件**
本体の電源がOFFになっていても、ACアダプタから給電されているクレードルに装着すると充電が開始されます。
※但し、この状態では充電量を示すLEDは点灯/点滅しません。

■**充電時使用**
クレードルに装着した状態で本体を使用することができます。

■**電源ON/OFF方法**
＜電源ON方法＞
本体の右側面にある電源ボタンを3秒長押しすると端末を起動することができます。

＜電源OFF方法＞
本体起動中に、同様に電源ボタンを3秒長押しすると、画面の右側に操作アイコン（シャットダウン、再起動、スクリーンショットカット）が表示されます。

■**スリープ方法**
本体使用時に電源ボタンを一回押すことにより、画面を消灯させて、スリープ状態にすることができます。また、再度電源ボタンを押すと、画面を点灯させます。

LED表示の説明

本体の右側面に2つLEDインジケータが搭載されており、LED表示状態では以下のようにそれぞれの状態を示しています。

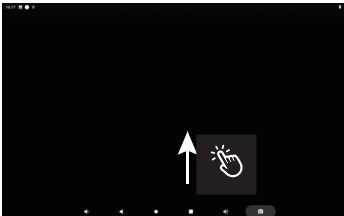
■**LED-1(上)**
＜起動状態表示＞
非点灯・・・電源が入っていない、または電池残量がなく起動できない状態
赤点灯・・・電源ON時からOSが完全に立ち上がるまでの状態
緑点灯・・・Wi-Fi通信正常動作状態（アクセスポイントと通信接続されている状態）
緑点滅・・・Wi-Fi未接続状態

■**LED-2(下)**
＜充電時の電池状態表示＞
緑点灯・・・充電量90%以上の状態
緑点滅・・・充電量50～89%以上の状態
赤点滅・・・充電量50%未満の状態

＜放電時の電池状態表示＞
非点灯・・・電池残量50%以上の状態
赤点灯・・・電池残量50%未満

ステータスバー表示と非表示方法

本体を利用する際に、ホーム画面にあるステータスバーを表示と非表示の切り替えが可能になります。用途に合わせてご利用いただけます。
以下の手順に沿って、ステータスバーの表示と非表示は変更可能です。



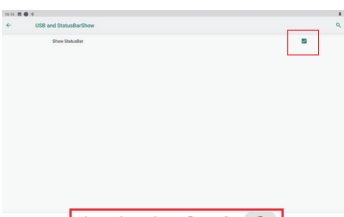
1、左図のようにホーム画面に下から上にスワイプすると、アプリ一覧画面が表示されます。



2、「設定」というアイコンをタップすると、設定画面が表示されます。



3、設定項目「USB and StatusBarShow」をタップすると、「Show StatusBar」という項目が表示されます。



4、左図のようにチェックを入れると、ステータスバーが表示されますが、チェックを外すと、ステータスバーが非表示になります。
※ステータスバーは非表示の場合、本体を再起動しない限り設定画面よりホーム画面に戻ることができないため、ご注意ください。

利便性向上アプリの説明

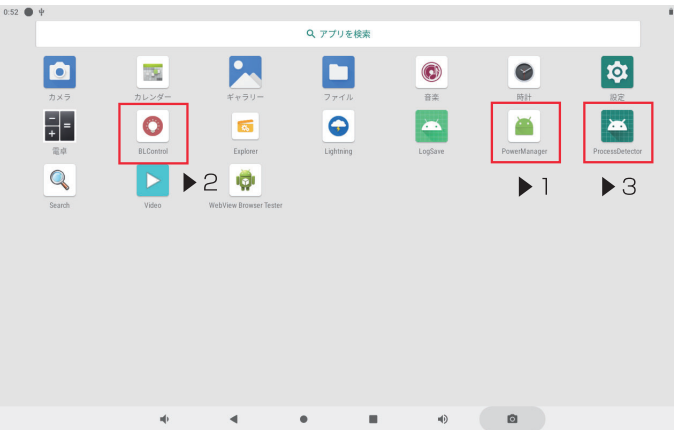
Android OSに付随されているアプリ以外に、以下操作の利便性を図るため搭載されているアプリの仕様と用途を説明します。

＜アプリ一覧画面表示方法＞

1、本体を起動すると、impactTVのロゴが表示された後、Androidホーム画面が表示されます。

2、ホーム画面の下部にナビゲーションバーの上方のエリアに下から上にスワイプさせると、アプリ一覧画面が表示されます。

3、以下の3つアプリについて説明を記載します。



■PowerManager ▶1

＜機能＞

① **本体の自動スリープタイマー設定**
スリープタイマーの設定により、液晶輝度の低下を抑制するために、定時で画面を消灯させることができます。
※Enable/Disable設定可能です。

② **本体の自動リポート設定**
メモリリーク等による不具合の発生を抑止することを目的として、1日に一度、定時にシステムをリポートさせる機能です。
※Enable/Disable設定可能です。

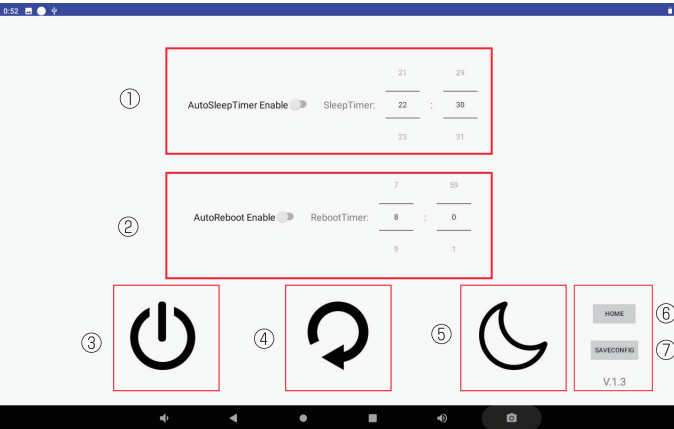
③ **本体のシャットダウンボタン**
電源ボタンの長押しによる本体のシャットダウンさせる機能以外に、本アプリにもシャットダウンするというボタンを設けてあります。

④ **本体のリポートボタン**
本体をリポートさせる機能です。

⑤ **本体のスリープボタン**
電池消費の低減を抑えるために、無操作時に本体の画面を消灯させ、スリープさせる機能です。本体の側面にある電源ボタンを一回押すと、再度画面を点灯させます。

⑥ **Homeボタン**
Homeボタンを押すと、アプリからホーム画面に移行します。

⑦ **SaveConfig**
PowerManagerのアプリ内に設定を保存する際に使用して設定値を保存することができます。



■輝度調整アプリ（BL Control）▶2

本製品には経年劣化によるバックライトの輝度の低下を防ぎ、約5年間輝度を一定に保持する機能が搭載されています。
※工場出荷時設定のままをご使用いただいた場合（実質輝度：3000cd）

本機能は専用のアプリ（BL Control）により実行されていますが、当該アプリを停止/設定レベル変更/出荷状態リセット等の操作をした場合、5年未満で輝度を大きく低下する場合があります。



■監視アプリ（Process detector）▶3

Process detectorは搭載されたアプリケーションソフトの動作の予期しない停止や、画面がホーム画面表示状態に陥った場合、OSそのものがハングアップしてしまった場合にそれらの異常を自己検知し、自動的にシステムをリポートさせる機能です。

＜ANR アクティビティ検出＞

ANR activityの有無を10秒ごとに確認し、1分間継続して検出した場合にシステムをリポートします。

＜APK Watch Dog監視＞

お客様のソフトにFeeding機能を実装していただける場合、これを監視し、1分以上検出できなかった場合にシステムをリポートします。

＜ホーム画面アクティビティ検出＞

画面がAndroidのホーム画面状態になっていないかを10秒毎にチェックします。ホーム画面が1分間以上継続し、その間画面操作等がなされなかった場合にシステムをリポートします。

＜ハードウェア Watch Dog監視＞

CPUと別に実装されたマイコンにより、CPU上で動作しているOS(Linuxを含む)が正常に動作しているかを監視し、異常を検出するとシステムをリポートします。

＜タイマーリポート機能＞

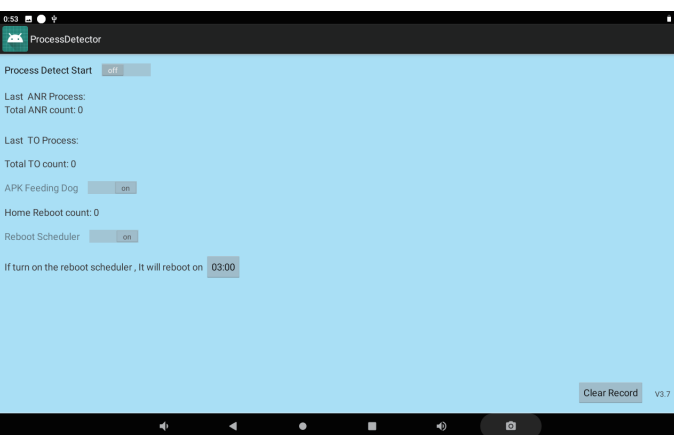
リポートする時間を自由に設定することができます。

※1.システムをリポートさせる際には事前に今からリポートを実行する旨を知らせるメッセージをブロードキャストします。これを受けたアプリ側はメモリへアクセス、ストレージへのR/W、通信動作を停止させます。

※2.上記メッセージをブロードキャストした後に一定時間を経過するとリポートが実行されます。

※3.リポートの実行の際にはすべてのアプリの動作を強制停止させ、メモリアクセス通信を停止させた後のリポート（Safety Reboot）とするため、リポートによるデータの破損は発生しません。

※4.工場出荷時の設定はすべてDisableになります。



電磁妨害について

この装置は、クラスB機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-B

保証とアフターサービス

【無償修理保証について】

お買い上げいただきました商品についての無償修理保証はご注文時の見積条件に基づきます。保証内容は当社保証規定に準じます。

【製品の廃棄方法について】

当社製品はRoHS指令に準拠しており環境汚染物質は含んでおりませんが、廃棄される場合には認可を受けている指定産業廃棄物処理業者に委託することが法律で義務付けられています。